

トマトカレーの完成間近！実験も終盤！

黒豚とトマトのキーマカレーの完成、そして今年度のトマト給与試験のゴールが近づいてきています。

カレーについては、いよいよ商品の顔となるパッケージが完成に近づき、あとは製造開始、そして商品の完成を待つばかりとなりました。イラストも生徒が作成し、商品の内容や、どんなカレーなのか、そして私たちのこだわった部分が伝わるようなパッケージになりました。裏面には活動の概略や、学校エホへのQRコードも記載し、この活動をより多くの人に知ってもらおうきっかけを作れるような商品にしました。このまま進めば、9月頃には販売が開始できるかもしれません。とても美味しいカレーに仕上がっているのです、販売した際には多くの人に食べてもらいたいです。

また、4月から開始した規格外トマト給与試験では、試験区、対照区ともに1頭ずつ、出荷体重である120kgに達し、出荷が始まりました。これで4頭ずつだった実験区がどちらも残り3頭になります。バークシヤー種は出荷直前の体重が伸びにくいいため、トマト給与で出荷直前の伸びに違いがでるかも楽しみみです。今後、出荷した豚の肉を分析すること、今年度の目標である、規格外トマトが肉質に及ぼす影響を説明することができるとも楽しみです。



カレー 裏面と表面

みかわ牛銘柄推進協議会 表敬訪問

6月9日、みかわ牛銘柄推進協議会の会長である、JAあいち経済連の中野様への表敬訪問へ行ってきました。和牛甲子園の結果を報告すると共に、動物科学部が今年度取り組んでいる、みかわ牛の知名度向上に向けた取り組み内容を報告しました。コロナ禍ということもあり、現在の課題として、やはりマデきる場所が少ないというお話がありました。そんなコロナ禍でもできる活動として、キャラクター作りやみかわ牛便りの発行、出品予定牛の発育紹介動画の作成はぴったりです。そこで、作成したマスコットキャラクターやみかわ牛便りをお披露目し、私たちの取り組みやその目的を提案させていただきました。すると、この取り組みに関心を持っていただき、大賛成していただきました。

今年度は全国和牛能力共進会の特別区への出場も目指しており、みかわ牛の魅力在全国に伝える場合は、和牛甲子園だけではありません。様々な場所で、多くの人にみかわ牛を知ってもらう、今できる活動を考え、取組みを続けていきます。そして、次の和牛甲子園の終わつた後も、再び優勝旗を持って表敬訪問に伺えるように頑張ります。



農業クラブ県大会
両チームの結果！



プロジェクト発表会分野Ⅱ類【開発・保全・創造】
豚チームが**最優秀賞**を獲得しました！
→東海ブロック大会出場が決定！
題目：広がる！規格外トマトの可能性！～2年目の挑戦～



プロジェクト発表会分野Ⅲ類【ヒューマンサービス】
牛チームが**優秀賞**を獲得しました！
題目：みかわ牛の知名度向上を目指して